

I 看護職の仕事・活動の場

1. 看護の仕事は・・・

人が生まれるときから年老いて一生を終えるときまで、いろいろな人生に関わっていく仕事です。

健康と病気、医療・看護についての専門的な知識と技術を身につけ、たくさんの人と出会える生きがいのある仕事です。

○ 看護職はあなたの活躍の場を広げます。

看護職とは保健師、助産師、看護師、准看護師を含めた総称です。

看護職の資格は、保健師助産師看護師法に基づく厚生労働大臣、または都道府県知事の免許です。

資格を取ると、医療看護の専門職として多方面で活躍することができます。

○ 専門職としての役割が期待されています。

少子高齢社会が進む中、看護職には、地域で暮らす全ての人々が、その人らしく暮らせるよう専門職としての役割が期待されています。在宅での療養を希望する人も増えており、病院や診療所だけでなく、訪問看護ステーションや福祉施設などの在宅医療のための施設や学校など活躍の場が広がっています。

○ あなたの希望に合う看護職の資格取得までの選択肢が増えました。

看護師等養成所や看護大学など看護職の資格取得までには様々なコースがあります。卒業後に取得できる資格や修業期間が異なりますので、あなたにあったコースを選択して下さい。

また、近年、大学院での修士課程や博士課程への道も開かれています。

○ 貸付金・給付金制度が活用できます。

P3を参照してください。

○ オープンキャンパス、学校見学等

オープンキャンパスや学校見学などを開催している学校はたくさんあります。行きたい学校や気になる学校があれば、積極的に調べましょう。自分に合った学校が見つかるでしょう。

2. 進む道は多方面に

看護職が関わる仕事の範囲はますます拡がり、その役割は重要になってきています。

看護師

病気や怪我をして入院している人や、自宅で療養している人たちの看護や療養上のお世話及び診療の補助を行います。

働く場所：病院、診療所、社会福祉施設、企業の医務室、訪問看護ステーション、看護師学校など

准看護師

医師や看護師の指示に従いながら、業務に従事します。

仕事の内容は、ほぼ看護師と同様です。

保健師

病気の予防や健康の保持増進を図り、家庭訪問や健診により、住民の健康生活に必要な保健指導を行います。

働く場所：各自治体保健所や市町村、病院、企業など

助産師

分娩の介助、妊産婦と赤ちゃんの保健指導や、家族計画を指導します。

働く場所：病院、診療所、助産所など